

三陸&東海 防災フェスティバル

伝 で ん

日 時 平成30年2月17日(土) 9:20~16:00
参加費 無料(事前申し込み不要)
場 所 名古屋学院大学 白鳥学舎 翼館4階 クラインホール

第1部 ポスターセッション

様々な立場で防災教育・防災活動に
取り組む皆さんによるポスター発表

9:45~10:55

第二回 伝

平成30年8月25日(土)
東北学院大学で開催決定!

昼食 三陸から特製
弁当 or 非常食体験

登壇者・司会者は裏面記載

第2部 パネルディスカッション

防災教育の専門家による議論と
フロアーの皆さんとの討議

11:10~12:40

気仙沼からの語り部さんのお話 13:30~14:05
東日本大震災の教訓と気仙沼の復興への歩みを
伝える語り部さんと、命の大切さを考えてみませんか

第3部 Round Study

新しい手法による全員参加の意見交流
これからの防災教育・防災活動について
立場を超えて語り合いましょう

14:10~15:35

地下鉄日比野駅
または西高蔵駅
から徒歩約8分。

名古屋学院大学 白鳥学舎について

皆様にはご面倒をおかけいたしますが、公共交通機関でのご来場をお願いいたします。なお、会場には駐車スペースもございません。近くの有料駐車場も限りがあるため、大変ご面倒をおかけいたしますが、ご了承の程よろしくをお願いいたします。



主催：三陸&東海防災フェスティバル“伝”実行委員会
名古屋学院大学

後援：愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会、
名古屋市港防災センター、認定NPO法人レスキューストックヤード

協力：愛西市役所、あいち防災リーダー会、美浜・南知多防災の会、株式会社真照
石巻地元工務店協同組合、気仙沼観光コンベンション協会、星のまち仙台防災教育研究会

連絡先：den.sanriku.tokai.festival@gmail.com

実行委員長：市川真基（愛知教育大学 大学院 教育学研究科 2年）

これからの「防災」についてみんなで語り合ってみよう

第1部 〈ポスターセッション〉出展予定

仙台市立北六番丁小学校（星のまち仙台防災教育研究会）、
石巻地元工務店協同組合スタッフ（復興住宅担当）、減災チーム・トイレの備え、
美浜・南知多防災の会、愛知県西尾市一色中部小学校、愛西市役所防災安全課、学生研究枠、
学生ボランティア枠、大学連携枠（予定）

第2部 〈パネルディスカッション〉登壇予定者



近藤ひろ子氏

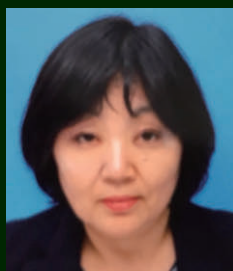
JICA（独立行政法人国際協力機構）専門家（防災教育）、
名古屋市港防災センター
防災教育アドバイザー

愛知県内の小中学校で教職員として「学校・家庭・地域が連携した防災学習」に取り組みながら、JICA 防災教育担当専門家として支援活動にたずさわる。退職後は名古屋大学減災連携研究センターに5年間在籍し、防災教育の研究・発信をする。現在も「防災は『命・支え合い・自ら動く』」をモットーに、精力的に活動している。

佐藤福実氏

塩釜市教育委員会教育部生涯
学習課 渉外学習センター学び
の係 社会教育指導員
名取市立増田中学校 元校長

東日本大震災（2011年3月11日）発生直後の15:30に、いち早く避難所を開設する。増田中学校職員が一丸となって、生徒の安否確認・避難所運営・学校再開（3月28日）に取り組む。PTAや地域住民の協力態勢の中、約3か月間避難所となり最大で約500人の避難者が暮らした。当時のことを振り返って「住民、職員、ボランティアが立場を超えて協力し合う力は大きかった」と述べている。



千葉久美子氏

仙台市立北六番丁小学校
防災主任 地域連携担当
星のまち仙台防災教育
研究会代表

東日本大震災直後に北六番丁小学校に赴任。仙台市教育委員会の「新たな学校防災教育モデル校」の指定を受け（平成24・25・26年度）、以来「地域と連携した防災教育」を展開している。児童が人々の絆を強めることの大切さに気付き、「和・話・輪フェスティバル」という活動に発展させ、児童・保護者・地域の人々の交流に貢献している。防災教育のカリキュラムマネジメントの研究を進めている。

司
会
者

原田 三朗氏

愛知県豊川市立御津南部
小学校教頭

生活科・総合的な学習の時間の単元づくりの経験を豊富に持ち、子どもたちからの実体験を学びに紡ぎ出していく実践について主に研究している。近年は、若手教員の指導や研修に当たり、東三河「ほのくに生活・総合研究会」を主催している。



防災ゲーム（常設）

イザ！という時のために、何を備えたらいいの？
イザ！という時に、大切にすることは何？
イザ！という時に、何をしたらいいの？
防災ゲームは、単なるあそびではなく、
ゲームを通してしっかりと防災を学ぶ「学習教材」です。

- ★神経衰弱カード…絵合わせを楽しみながら学びます。
- ★ビンゴ…引いたカードの絵でビンゴを狙います。
- ★災害想定ゲームK I Z U K I…リーダー、施設職員としての対応を学びます。 ★すごろく ★釣りぼり
- ★絵本…手づくり仕掛け絵本 など

NPO法人 高齢者住まいる研究会（理事長 寺西貞昭さん）

三陸から特製弁当をお届け

食材豊富な宮城から発信

ほっき飯弁当

700円（予定）



ほっき貝は、貝の王様といわれています。冬から春先に味わいます。
ほっき飯は、宮城の代表的な郷土料理で、ほっき貝の煮汁で煮込んだご飯の上に貝をのせていただきます。
ぜひ、お試しください！！

限定100食 当日受付でお弁当券を販売します。（予定）